

(Abridged English Translation)

Cited Document 4

Japanese Utility Model Application Laid-Open No. 76,020/1977

Published: June 7, 1977

Filed: December 4, 1975

Application Serial No. 162,993/1975

Applicant: Fuji Heavy Industries Ltd.

Title of the Utility Model:

“ Structure of backseat for passenger-cargo vehicle ”

公開実用 昭和52—76020

2000円
(3,000円)

実用新案登録願 (イ)

昭和 50 年 12 月 4 日

特許庁長官殿

1. 考案の名称

カキヤクケンヨクシドウシャ コクブザセキコクゾウ
貨客兼用自動車の後部座席構造

2. 考案者

住 所 群馬県新田郡新田町木崎 601 の 4
氏 名 カキ 沼 信 吉

(外 2 名)

3. 実用新案登録出願人

住 所 東京都新宿区西新宿一丁目 7 番
名 称 フ ジ シュウゴウギョウ
富士重工業株式会社
代表者 オオ ハラ エイ
大 原 栄

4. 代理人

住 所 東京都千代田区丸の内 3 丁目 4 番 2 号
電話 (211) 4501 ~ 3 番
氏 名 (6222) 弁理士 秋 元 輝 雄
外 1 名

5. 添附書類の目録

(1) 明細書	1 通	(3) 委任状	1 通
(2) 図面	1 通	(4) 願書副本	1 通

50 162993

明 細 書

1. 考案の名称

貨客兼用自動車の後部座席構造

2. 実用新案登録請求の範囲

後部座席が設置される室内中間床面を一段落して二段形成した貨客兼用自動車において、上記後部座席はフレーム台と、このフレーム台上面に敷置されるクッションシートと、このクッションシートの後端部側に立設されるバックレストと、このバックレストの背面部側に取付けられるデッキ板とから構成されるとともに、これら各構成体を前方あるいは後方に適宜回転展開または折り畳み可能にし得るように枢着することによつて、前部座席が設置される前部側上段床面を除く室内床面を全体的にフラットな面または二段の何台面に拡張形成することを特徴とする貨客兼用自動車の後部座席構造。

3. 考案の詳細な説明

本考案は、例えばバン型自動車等の貨客兼用

- 一 自動車の後部座席構造に関し、後部座席が設置される室内中間床面を一段落して二段床面としかつ後部座席の折り畳み手段を工夫することにより、何物等が積載される荷台全体をフラットにしたり、あるいは二段フロアにしたりして床面積の拡張使用を図るようにしたものである。

以下、本考案を図示の一実施例に基づいて説明すると、第1図に示すように、図中1はバン型自動車等の貨客兼用自動車本体で、室内床面2は前部座席3が設置される前部側床面2aと、通常の荷台となる後部側床面2bとを除く中間床面2cを一段落して二段形成され、かつその下段中間床面2cの略中央には、後部座席4が設置されている。上記後部座席4はフレーム台5と、このフレーム台5上面に敷置されるクッションシート6と、このクッションシート6の後端部側に立設されるバックレスト7と、このバックレスト7の背面部側に取付けられたデッキ板8とから組立て構成されているとともに、上記フレーム台5はピン9によつて下段中間床面2cに前方回転自在に枢着さ

一、また上記クッションシート6はピン10によつてフレーム台5に前方回転自在に枢着され、さらに上記バックレスト7はフレーム台5に一端をピン11で枢支した連結部材12によつて前後に適宜回転可能に取り付けられ、さらにまた上記アツキ板8は、連結部材12に枢着されたバックレスト7の軸支部13と同軸的に連結した連結杆14を介して後方回転自在に取り付けられている。そして、上記クッションシート6は、前方に回転させたとき、その後端縁部6aが上記前部側上段床面2aの段差部に突設した係止部15に係止して裏面部が上段床面2aと面一になるように構成され、またこの状態で上記バックレスト7を前方に傾倒させたとき、バックレスト7の上端縁部7aが上記フレーム台5の上部前縁部または半転したクッションシート6の前縁部6bに係止して、バックレスト7の裏面部が上記上段床面2a及びクッションシート6の裏面部と略々面一になるように構成され、さらに上記アツキ板8は、後方に回転させたとき、その上端縁部8aが上記後部側上段床面2bの角

一 縁部に形成した係止凹部16に係止して後部側床面2bと面一になるように構成され、これによつて第2図に示すように、前部座席3が設置される前部側上段床面2aを除く全体にフラットな荷台面20を拡張形成することができる。

一方、第3図に示すように、クッションシート6を載置したままフレーム台5を前方に回転して倒し、かつこれに伴つてバックレスト7及びデッキ板8を後方(下方)に回転させて倒すと、フレーム台5、クッションシート6、バックレスト7及びデッキ板8は下段中間床面2cの前方にコンパクトに折り畳むことができ、これによつて後部側上段床面2bと下段中間床面2cとで二段の荷台面21を拡張形成することができる。

このように、本考案は、後部座席が設置される室内中間床面を一段落して二段床面とした貨客兼用自動車において、後部座席を構成するフレーム台、クッションシート、バックレスト及びデッキ板を前方あるいは後方に適宜回転展開または折り畳み自在に組立てることにより、後部座席の設置

一部分を含む荷台面の拡張を図り、かつ荷台面を用途に応じて全体にフラットな面にしたり、二段にしたりすることができるようにしたことを特徴とし、実用上非常に便利な効果を奏するものである。

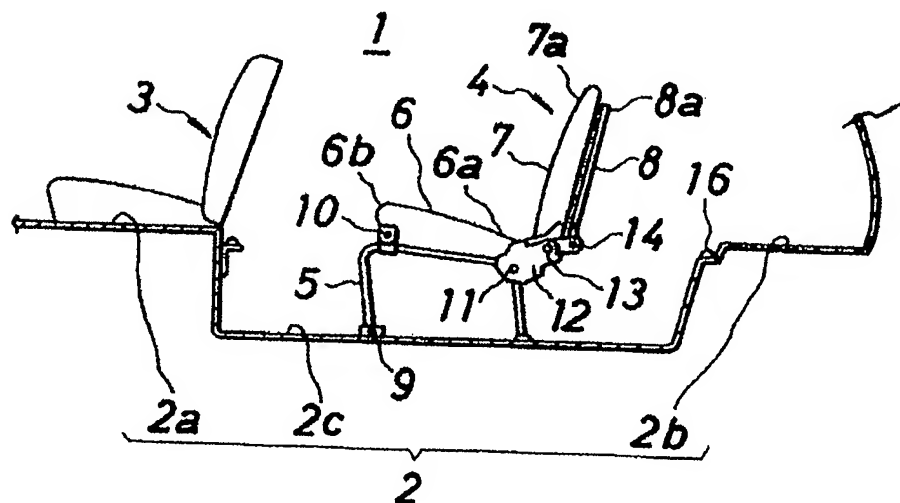
4. 図面の簡単な説明

第1図は本考案に係る一実施例を示す貨客兼用自動車の略示的要部説明図、第2図は同じく荷台面全体をフラットに拡張形成した状態を示す説明図、第3図は同じく荷台面を二段に拡張形成した状態を示す説明図である。

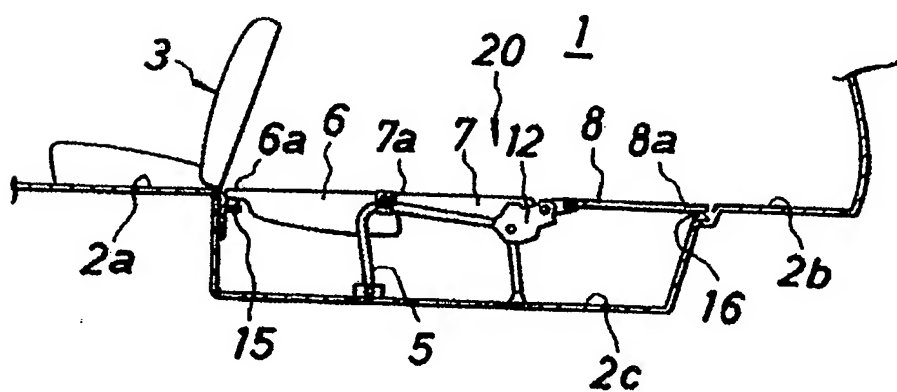
図中の符号の説明

- 1 …… 自動車本体 2 …… 室内床面
- 2 a …… 前部側上段床面 2 b …… 後部側上段床面
- 2 c …… 下段中間床面
- 3 …… 前部座席 4 …… 後部座席
- 5 …… フレーム台 6 …… クッションシート
- 7 …… バックレスト 8 …… アツキ板
- 20、21 …… 荷台面

第 一 図



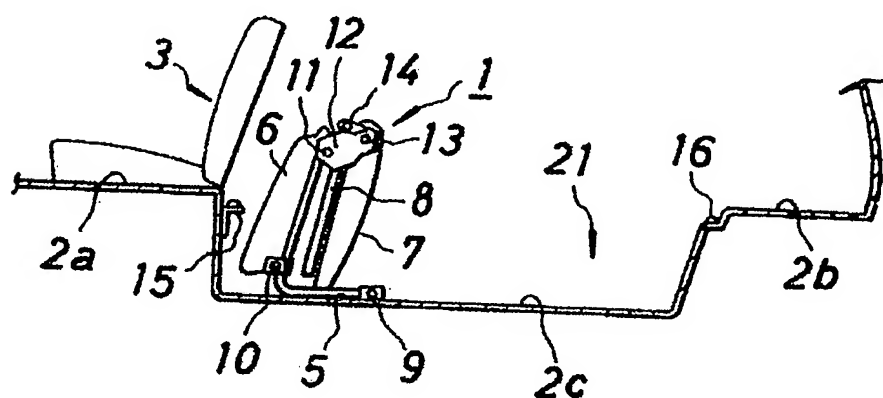
第 二 図



76020 ㄥ

代理人 秋 元 輝 雄
外 1 名

第 4 圖



76020 3/5

代理人 秋 元 輝 雄
外 1 名

20

6. 前記以外の考案者及び代理人

(1) 考案者

住所 群馬県新田郡尾島町大字堀口^{ニシタ グン オジママチ ホリグチ}1235の4

氏名 ヤマ モト ムネ ソウ
山 本 勇 三

住所 群馬県太田市^{シモコバヤシ}下小林218-6

氏名 オオ サワ マサ ヨシ
大 沢 正 義

(2) 代理人

住所 東京都千代田区丸の内3丁目4番2号

氏名 (1615)弁理士 秋 元 不 二 三

公開実用新案公報

昭52-76020

⑫ Int.Cl²

識別記号 ⑬日本分類

庁内整理番号 ⑭公開 昭和52年(1977)6月7日

B 60 N 1/10

80 B 6

6839-36

審査請求 未請求

⑮貨客兼用自動車の後部座席構造

⑯実 願 昭50-162993

⑰出 願 昭50(1975)12月4日

⑱考 案 者 柿沼信吉

群馬県新田郡新田町木崎601の4

同 山本勇三

群馬県新田郡尾島町大字堀口1235の4

同 大沢正義

太田市下小林218の6

⑲出 願 人 富士重工業株式会社

東京都新宿区西新宿1の7の2

⑳代 理 人 弁理士 秋元輝雄 外1名

㉑実用新案登録請求の範囲

後部座席が設置される室内中間床面を一段落して二段形成した貨客兼用自動車において、上記後部座席はフレーム台と、このフレーム台上面に載置されるクッションシートと、このクッションシ

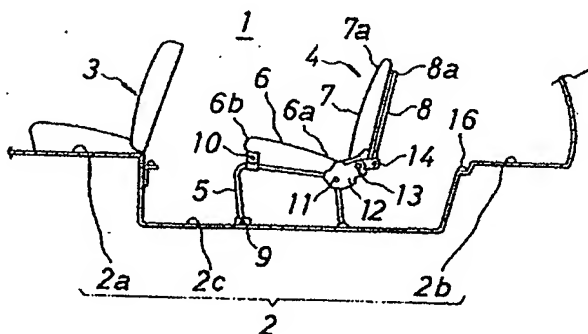
ートの後端部側に立設されるバックレストと、このバックレストの背面部側に取付けられるデッキ板とから構成されるとともに、これら各構成体を前方あるいは後方に適宜回転展開または折り畳み可能にし得るようによりに枢着することによつて、前部座席が設置される前部側上段床面を除く室内床面を全体的にフラットな面または二段の荷台面に拡張形成することを特徴とする貨客兼用自動車の後部座席構造。

図面の簡単な説明

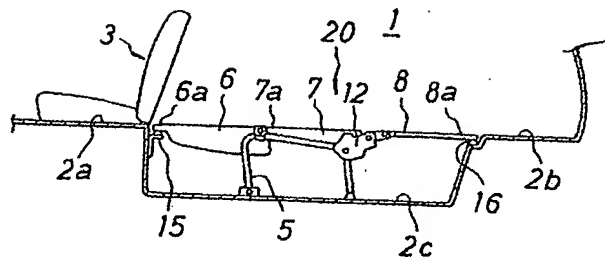
第1図は本考案に係る一実施例を示す貨客兼用自動車の略示的要素説明図、第2図は同じく荷台面全体をフラットに拡張形成した状態を示す説明図、第3図は同じく荷台面を二段に拡張形成した状態を示す説明図である。

図中の符号の説明、1…自動車本体、2…室内床面、2a…前部側上段床面、2b…後部側上段床面、2c…下段中間床面、3…前部座席、4…後部座席、5…フレーム台、6…クッションシート、7…バックレスト、8…デッキ板、20、21…荷台面。

第1図



第2図



第3図

